参考資料



資料1 まち歩き点検の実施概要

【まち歩き点検】

- ○日 時:平成23年6月23日(木) 午前9時30分~午後4時
- ○参加者:区民部会メンバー(障がい者団体、高齢者団体、町会及び商店会等)
- ○まち歩き点検(午前)
 - ・JR 蒲田駅周辺の道路、施設を対象に、移動のしやすさ、案内のわかりやすさ 及び施設・設備の使いやすさなどを点検しました。
 - ・まち歩き点検は、A~Dの4ルートに分かれて行いました(27ページ参照)。





○ワークショップ(午後)

- ・点検終了後、現地で確認した良い点、問題点及び改善点などを、コース毎に 図面を用いてまとめました(28~31ページ参照)。
- ・各コースの代表者が、まとめた意見を発表しました。



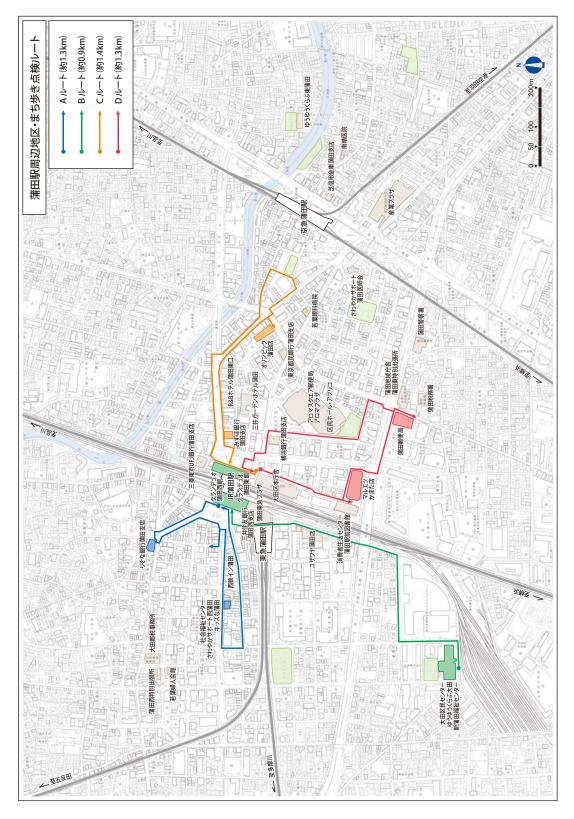


【施設点検】

・6/23のまち歩き点検で点検しきれなかった施設については、施設管理者の協力のもと、区民部会のメンバーにより、別途、施設点検を行いました(計9日)。



・また、6/23まち歩き点検で点検しきれなかった経路については、まち歩き点検での意見等を踏まえながら、区が点検を行いました。



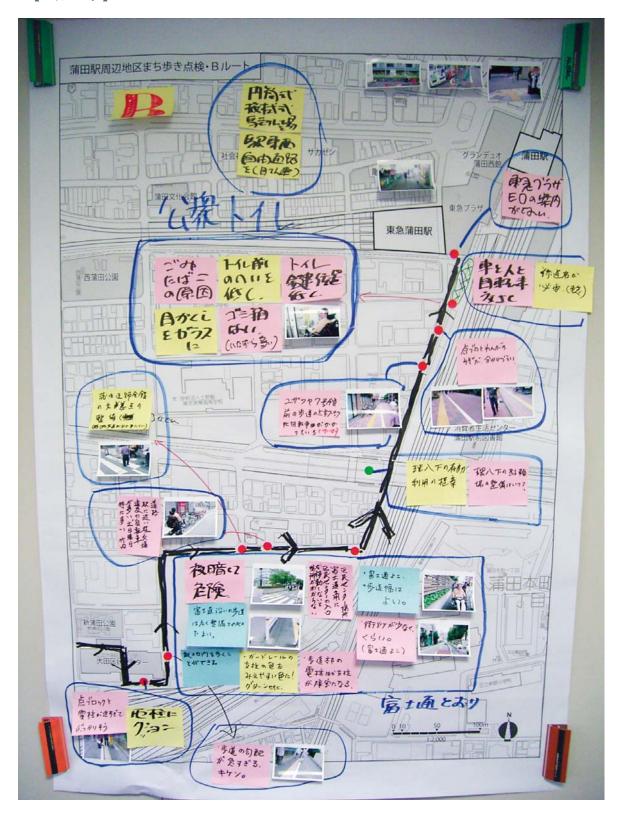


[AJV-ト]





【Bルート】



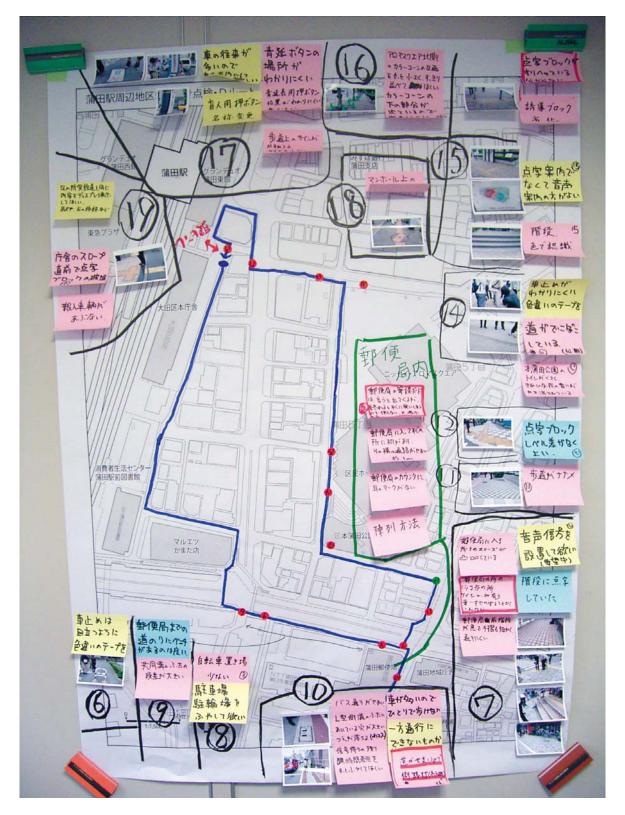


[Cルート]





【ロルート】





【施設点検の実施概要】

開催日	対象施設	参加者数
6月13日(午前)	大田区役所本庁舎	5名
6月13日(午後)	蒲田税務署、蒲田地域庁舎、蒲田東特別出張所、 蒲田警察署	7名
6月15日(午前)	蒲田東急プラザ	4名
6月15日(午後)	東急蒲田駅、ユザワヤ蒲田店	3名
6月20日(午後)	芝信用金庫蒲田支店、産業プラザ	6名
6月27日(午前)	JR蒲田駅	4名
6月29日(午前)	田(午前) 東京都民銀行蒲田支店、蒲田駅前図書館、 消費者生活センター	
7月4日(午前)	御園神社、若葉婦人会館、大田都税事務所	3名
7月6日 (午前)	三井住友銀行蒲田西支店、 三菱東京UFJ銀行蒲田支店、 横浜銀行蒲田支店	6名
7月6日(午後)	7月6日(午後) 若葉眼科病院、アロマプラザ、 アロマスクエア郵便局、区民ホール・アプリコ	
7月11日(午前)	7月 11 日 (午前) さわやかサポート蒲田医師会、 ゆうゆうくらぶ東蒲田	
7月13日(午前)	蒲田西特別出張所、西鉄イン蒲田、 7月 13日(午前) 三井ガーデンホテル蒲田、 R&Bホテル蒲田東口	
7月13日(午後)	京急蒲田駅、南晴病院	4名



資料2 蒲田駅周辺地区バリアフリーに関するアンケート結果

■概要

1.配布回収数等

配布数	365
回収数	193
回収率	52.9%
配布・回収期間	2011年4月22日(金)~5月20日(金)

2.配布先

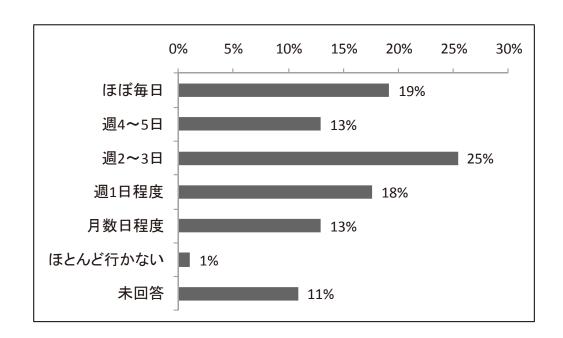
区分			部数	
障害者団体	大	田区肢体障害者福祉協	15部	
	大	田区視力障害者福祉協	50部	
	大	田区聴覚障害者協会	20部	
	大	田区知的障害者育成会	20部	
	大	田区精神障害者家族連	10部	
高齢者団体	大	田区老人クラブ連合会	50部	
	蒲田駅周辺(1 k m圏内)区立保育園 7箇所			140部
		西蒲田保育園	西蒲田三丁目13番12号	20部
		相生保育園	西蒲田六丁目18番8号	20部
		矢口保育園	新蒲田二丁目12番18号	20部
		新蒲田保育園	新蒲田一丁目18番23号	20部
妊産婦など育児 中の方		東蒲田保育園	東蒲田二丁目32番15号	20部
		蒲田本町保育園	蒲田本町一丁目1番1号101	20部
		本蒲田保育園	蒲田一丁目4番23号	20部
	蒲	田駅周辺(1km圏内	60部	
		光明幼稚園	西蒲田四丁目29番17号	20部
		パール幼稚園	東蒲田二丁目21番15号	20部
		道塚幼稚園	新蒲田二丁目21番15号	20部
合計			365部	



■調査結果

1. 蒲田駅・蒲田駅周辺への来街頻度

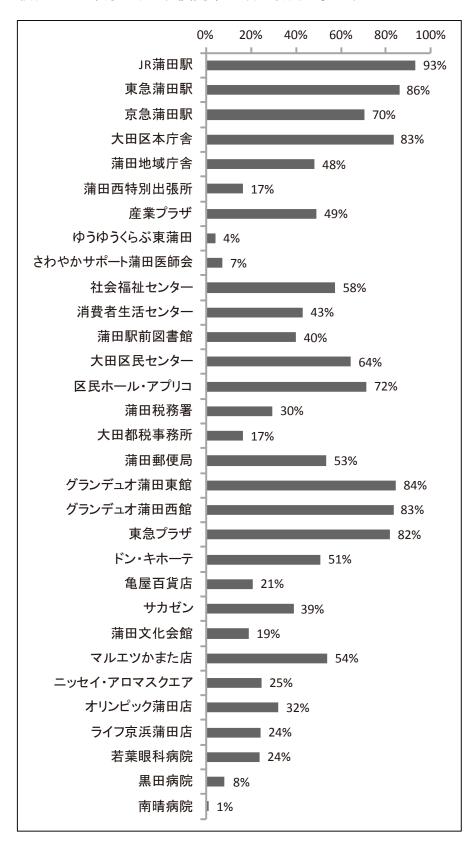
✓ 「週4~5日」と「ほぼ毎日」来街する方は約3割、「週2~3日以上」では5割以上の方が駅やその周辺地区に来街している。





2. 蒲田駅・蒲田駅周辺の施設の利用状況

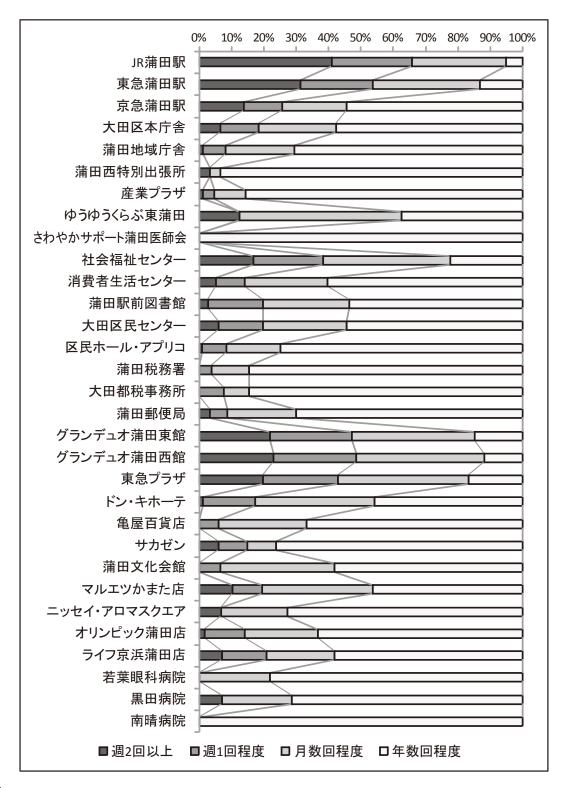
✓ 鉄道駅、大田区本庁舎、大規模商業施設の利用が多い。





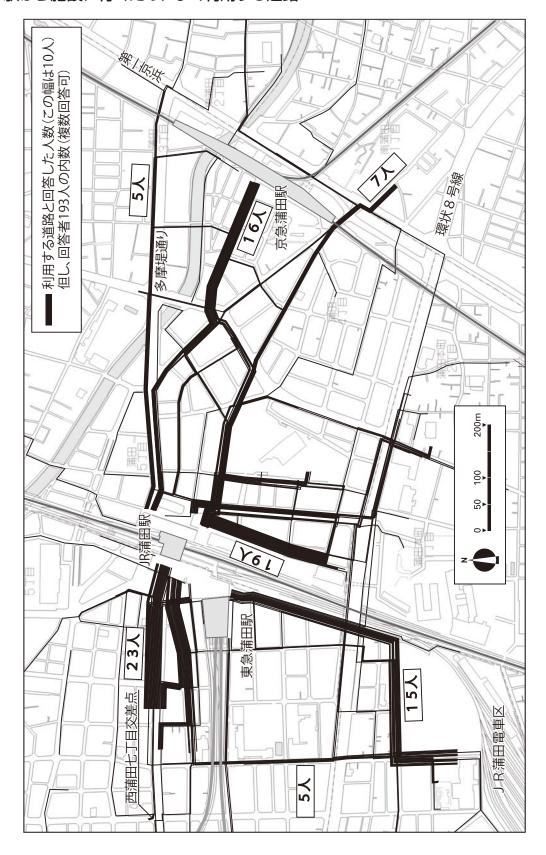
3. 蒲田駅及び周辺の施設の利用頻度

✓ 「週1回程度以上」が4割~5割程度の施設は、JR蒲田駅、東急蒲田駅、社会 福祉センター、グランデュオ蒲田東館・西館、東急プラザである。





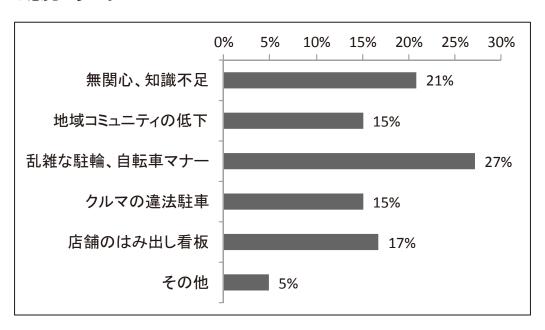
4. 駅から施設に行くためによく利用する道路





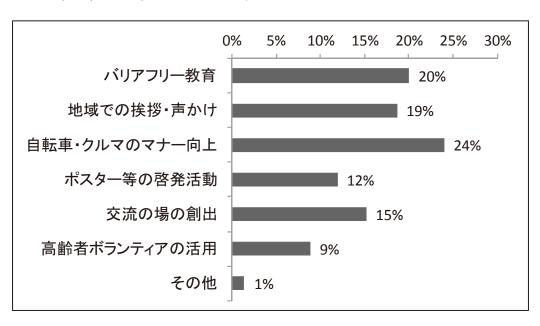
5. 心のバリア (障壁)となっていること

- ✓ 「乱雑な駐輪、自転車マナー」等自転車に関することが27%で最も多い。
- ✓ 「無関心、知識不足」や地域コミュニティの低下など潜在的な意識の問題と捉える意見が多い。



6. 心のバリアフリーを進めるために必要なこと

✓ 自転車やクルマ利用者のマナー向上や、地域全体で助け合う意識を高められる ような取り組みが求められている。





資料3 移動等円滑化の課題

1.地区の位置づけによる課題

蒲田駅周辺地区は、「大田区都市計画マスタープラン」において、大田区の中心拠点のひとつとされ、交通の主要な結節機能を有し、商業業務、情報及び文化等の多様な都市のサービス機能の維持、集積を図っていく地区に位置づけられています。

また、JR蒲田駅と東急蒲田駅を中心とした約80haの範囲を対象に、まちづくりの将来構想となる「蒲田駅周辺地区グランドデザイン」を策定しました。この中で、『にぎわいあふれる多文化都市、誰もが安心して気持ちよく過ご



せる人にやさしい蒲田』というまちの将来像を実現するため、『商業・にぎわい・交流の創出』『都市機能の向上』『まちの快適性の確保』をまちづくりの基本方針の3本柱としています。



さらに、京浜急行線では、本線の平和島駅から六郷土手駅までの区間及び空港線の京急蒲田駅から大鳥居駅までの区間において、連続立体交差事業が進められています。これに伴い、京急蒲田駅の改良、駅前広場及び関連側道などの整備、市街地再開発事業等が進められており、これらの関連事業について、本プランは連携する必要があります。

以上に挙げる本地区の位置づけを踏まえると、以下のような課題について、本プランでの対応が求められます。

- ○JR蒲田駅東西の連絡性の強化
- ○JR蒲田駅の駅前広場の機能向上
- ○JR蒲田駅前における放置自転車への対応
- ○京急蒲田駅の交通結節点の機能強化
- ○羽田空港からの誘客の中心的役割としての期待
- ○まちの魅力向上のための回遊性の確保



2.利用者意見による課題

蒲田駅周辺地区においてバリアフリー化すべき施設別に、現状とこれに対する利用者意見を示し、対応する課題を整理します。

利用者意見及び対応する課題は、区民部会で検討した結果及び「おおた街なか "すいすい"ビジョン」策定時に行ったアンケート(身体障がい者団体のほか、知的・ 精神障がい者に係る団体、妊産婦・育児中の方の意見を含む)を参考としています。

(1)公共交通

ア. 鉄道駅

【現状】

○鉄道駅では、エレベーター、だれでもトイレ、視覚障害者誘導用ブロックなどが整備されています。



駅出入口のエレベーター



だれでもトイレ

表 鉄道駅のバリアフリー化の状況

	車いすの経路		トイレ		視覚障害者
駅名称	出入口~ 改札口	改札口~ ホーム	車いす 対応	オスト メイト対応	誘導用 ブロック
JR 蒲田駅	0	0	0	0	0
東急蒲田駅	0	0	_	_	0
京急蒲田駅	0	0	0	0	0

- ○京急蒲田駅では、連続立体交差事業に伴い、駅施設の改良が進められています。
- ○東急蒲田駅では、トイレの改修が予定されています。



【利用者からの要望・指摘】

- ○車いすで券売機を利用する場合、券売機の下に足が入るスペースがないと、 券売機に近づけず利用しづらい。
- ○拡幅改札口が1か所の場合、混雑時に車いすで拡幅改札口に向かっても、人 の流れに妨げられて利用することができない。
- ○ホームからの転落や列車との接触を防ぐために、ホーム柵を設置してほしい。
- ○駅構内でエレベーターやだれでもトイレの位置がわかりにくいことがある。
- ○車いす使用者の視線から、高い位置にあるサインや路線図が見づらいことが ある。
- ○視覚障害者誘導用ブロックが設置されていない箇所や、誘導している動線が 人の流れにあっていないことがある。
- ○改札口、トイレ及びエレベーターなどに音声案内があるが、周囲の雑踏に紛れるなど聞き取りづらいことがある。また、案内される内容がわかりづらいことがある。
- ○駅には、車いす使用者が利用できるトイレを設置してほしい。
- ○視覚障がい者には、トイレの水洗ボタンやペーパーホルダーの位置がわかり づらいことがある。

【鉄道駅の課題】

- ○車いす使用者の利用に配慮した券売機の改善
- ○利用者の動線を考慮した拡幅改札□の設置または増設
- ○ホーム柵も含めたホームからの転落防止対策
- ○駅構内のレイアウトを示す案内図の設置
- ○案内サインの見やすさ、わかりやすさの改善
- ○視覚障害者誘導用ブロックの適切な設置
- ○周辺の環境に配慮した音声案内の改善
- ○だれでもトイレの整備
- ○トイレの便器洗浄ボタン、呼出しボタン等の配置の統一



イ. バス

【現状】

- ○蒲田駅の東口と西口にバス乗り場があります。
- ○蒲田駅を発着している路線バスのノンステップ車両の導入率は、約98%です。

表 ノンステップバスの導入状況

事業者	ノンステップ車両	ワンステップ車両	全車両
東急バス池上営業所	64 台	_	64 台
京浜急行バス大森営業所	102台	_	102台
羽田京急バス東京営業所	66 台	4台	70台



ノンステップバス



バスロケーションシステム

【利用者からの要望・指摘】

- ○バス車両は、ノンステップバスにしてほしい。
- ○車いすでバスを利用する際、後部の乗降口からスロープ板で乗車することに なるが、その位置で待機していると、乗務員が気づかないことがある。
- ○ベンチなどで車いす乗降用のスロープ板が適切に設置できないことがある。
- ○複数の路線のバスが発車するバス乗り場では、視覚障がい者にとって、どの 路線のバスが停車しているのかがわからない。
- ○車いす乗降用のスロープ板を設置する際は、バスが停留所との隙間を空けずに停車することが必要だが、バス停付近の路上駐車により、バスが適切に停車することが困難な場合がある。
- ○知的障がいなどについても、対応の方法を知っていてほしい。
- ○バスに乗る際に、ベビーカーを開いたまま乗車してよいのか、たたむ必要があるのかわからないことがある。ベビーカー利用時は、バスに乗るのを躊躇(ちゅうちょ)してしまう。



【バスの課題】

- ○全車両ノンステップバス化
- ○バス乗り場での車いす使用者の円滑な乗降の確保
- ○バス乗り場での行き先等の音声による案内の充実
- ○バス利用者への情報提供・接遇の充実
- ○バス停留所付近の違法駐車の取り締まりの強化

(2)道路等

ア. 駅前広場

【現状】

○JR・東急蒲田駅には、東西に駅前広場があります。また、今後京急蒲田駅には東西に駅前広場が設置される予定です。



蒲田駅西□駅前広場



蒲田駅東□駅前広場

【利用者からの要望・指摘】

- ○歩道と駅の視覚障害者誘導用ブロックは、連続するように設置してほしい。
- ○東口交番前の段差を解消してほしい。
- ○スツール兼用の高さの低い車止めは、つまずく恐れがある。
- ○放置自転車対策とはいえ、駐輪禁止のカラーコーン等が歩道を狭めている。
- ○駅前の目立つ場所に、緊急時の情報を表示する電光掲示板を設置してほしい。
- ○駅周辺の避難場所の案内図がほしい。
- ○街なか(施設外)にもAEDがほしい。



【駅前広場の課題】

- ○歩道の段差・勾配の改善
- ○視覚障害者誘導用ブロックの改善・設置
- ○車止めの配置や形状の改善
- ○路上占用物件等の整理
- ○駅前に緊急情報等を伝える電光掲示板や避難場所案内の設置

イ、道路

【現状】

- ○東側に第一京浜(国道15号)、南側に環状8号線(都道)、北側に多摩堤通り(都道)が通っています。
- ○これらの道路を含め、周辺の主な道路には、歩道が設置されています。(次ページ図参照)
- ○歩道と車道の段差がある箇所や、歩道のすりつけ勾配が緩やかでない箇所 があります。
- ○歩道に視覚障害者誘導用ブロックが設置されている箇所が多く見られますが、形状や色などわかりにくいものがあります。
- ○商店街には、アーケードが設置されている道路があります。



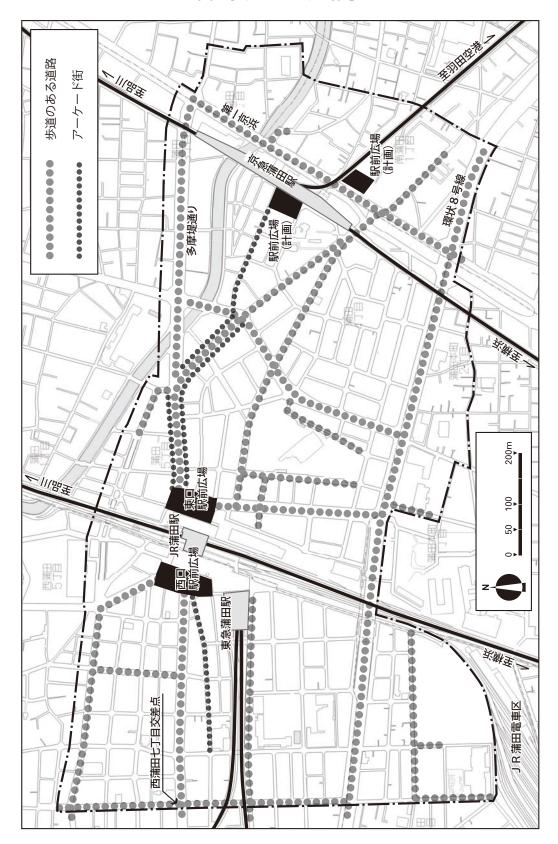
歩道のある道路



商店街のアーケードの例



図 歩道のある道路等





【利用者からの要望・指摘】

- ○横断歩道前の歩道のすりつけ勾配が急なため、信号待ちの際に車いすでは 安全に待機できないような場所がある。
- ○インターロッキングブロック等の舗装は、車いすの移動やベビーカーを押す際に、ブロック間のすき間によりガタガタすることがあるので、ブロック間のすき間が小さいものやブロックのサイズの大きいものにしてほしい。
- ○歩道上の駐輪や商品・看板等のはみ出しが通行の妨げになっている。
- ○視覚障害者誘導用ブロックの上に駐輪されている箇所がある。
- ○狭い道路の路側帯に標識や街灯があり、歩きにくい。
- ○案内サインが設置されていても、目立たないものがある。 また、ふりがなや 多言語の表記を充実してほしい。
- ○歩行者用信号機の青時間が短く、青時間内に渡りきれない横断歩道がある。
- ○視覚障がい者が安全に道路を横断できるように、音響式信号機やエスコートゾーンを設置してほしい。
- ○横断歩道付近に違法駐車車両があり、横断する際に視界が遮られ、危険である。
- ○歩道やアーケード内で自転車が歩行者をすり抜けて走るため、危険である。
- ○街灯が少ないため、夜は暗く、歩きにくい道路がある。

【道路の課題】

- ○歩道の路面の凹凸、段差及び勾配の改善
- ○視覚障害者誘導用ブロックの改善・設置
- ○自転車走行環境の改善
- ○駐輪、看板・商品等の歩道上の障害物の排除
- ○歩道のない道路における安全な歩行空間の確保
- ○案内サインの見やすさ、わかりやすさの改善
- ○バリアフリー対応信号機やエスコートゾーンの設置
- ○違法駐車の防止
- ○放置自転車対策
- ○自転車利用のルールとマナーの周知
- ○夜間の明るさの確保
- ○道路の維持管理・保全



(3)建築物

【現状】

○蒲田駅の周辺には、官公庁施設、郵便局、文化・教養施設、福祉施設、病院、 商業施設など、生活関連施設の候補となる施設が集中しています。



大田区本庁舎



産業プラザ



区民ホール・アプリコ



大田区民センター

【利用者からの要望・指摘】

- ○道路から施設の出入口まで、車いす使用者でも到達できるように、段差や路面の凹凸などを無くしてほしい。
- ○視覚障害者誘導用ブロックに、破損しているものや、通路の路面と区別でき ないものがある。
- ○階段は、弱視の人にとって、段(踏み面)の区別ができないことがある。
- ○階段の手すりは、両側に連続して設置してほしい。また、身体の状況に合わせて使えるように二段手すりにしてほしい。



- ○視覚障がい者が階段やエスカレーターを認識できるように、階段やエスカレーターの上下端に点状ブロックを設置してほしい。また、階段の手すりには、 点字表示を設置してほしい。
- ○車いす使用者が利用できるトイレを設置してほしい。また、オストメイト対応の設備を設けてほしい。
- ○サインや掲示物は、目立つ位置や高さに設置してほしい。また、文字の大き さや色などに配慮し、見やすく、わかりやすくしてほしい。
- ○カウンターや記載台は、車いす使用者の利用に配慮した高さにしてほしい。 また、杖などを掛けられるホルダーを設置してほしい。
- ○聴覚障がい者とのコミュニケーションに配慮して、筆談用具を準備してほしい。 また、筆談用具があることを見やすく、わかりやすい位置に表示してほしい。
- ○授乳室やおむつ換えができるスペースがあるとよい。
- ○高齢者、障がい者等に対する受付や窓口の応対が的確でない施設がある。 誰もが施設を気持ちよく利用できるように心がけてほしい。

【建築物の課題】

- ○道路から施設内までのバリアフリー化された経路の確保とその適切な管理
- ○施設内の円滑な水平移動・垂直移動の確保
- ○だれでもトイレの設置
- ○視覚障害者誘導用ブロックの適切な設置
- ○サインや掲示物の見やすさ、わかりやすさの改善
- ○高齢者、障がい者等に配慮した高さのカウンターや記載台の設置
- ○受付や窓口等における高齢者、障がい者等への適切な応対

